

# 「卒業生の歩み」

作成日:平成25年8月1日

8 M A  
生徒達へ

昭和32年卒業

樋口 豊

実社会では工高生と大卒との専門知識の差はそれほどありません。大切なのは熱意です。好きな事を精一杯勉強して下さい。そして高校時代の友人が一生の友人です。

先生へ  
お願い

工業高校として専門教科を自信と誇りを持って教えて下さい。そして、先生の情熱あふれるご指導は、40数年後のクラス会でも話題になったものです。

卒業後の  
歩み

昭和37年日本で開業したエッソ・スタンダード石油(株)に入社。同社の潤滑油販売部門で、セールス・エンジニアとして、潤滑油の技術サービスに全国の自動車、鉄鋼、造船、電力、化学工場、その他の製造業や機械工場を駆け廻りました。(嘱託勤務8年の後、平成19年退職)

「今も、少年の心で」

## 「潤滑技術サービス」の仕事の内容

燃料油の技術サービスも兼務しますが、潤滑油を取り扱う代理店への技術支援と潤滑油のユーザーである工場で、

- ・製品説明や適油の推薦
- ・予防保全(PM)や潤滑管理の支援
- ・使用油の分析と報告
- ・実車試験や実機テスト
- ・顧客への提案書・技術報告書の作成
- ・技術研修の講師(代理店、顧客)

こうした技術サービスを通して顧客の生産性向上とコスト低減に協力するものでした。



近況 少年の頃、模型やプラモデル、そして切手収集に興味がありましたが、経済的な理由や受験勉強で断念しました。定年退職後の余暇は、そうした趣味の再開でしたが、プラモデルを作ってみたものの、置き場に困り、今は置き場にさほど困らない切手収集にはまって、その作品作りを楽しんでいます。